

普及だより

平成21年8月18日 No.27
土浦農業改良普及事業推進協議会
茨城県県南農林事務所経営・普及部門
(土浦地域農業改良普及センター)
土浦合同庁舎第二分庁舎3階
土浦市真鍋5-17-26
電話 029(822)8517
FAX 029(822)7370
URL: <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/nourinjimu/kennan/tsuchiura/index.html>

女性農業者は元気です。



上左：生産技術の学習会、上右：食農教育活動、下左：起業活動、下右：女性組織による学習会

女性が農業就業人口の過半数を占め、女性の活躍なくして農業振興や地域社会の活性化は図れないといわれる中、女性達は、本心に元気に活躍しています。そんな女性達は、農業生産技術等の基本を学ぶ農村女性大学や、食農教育を通して将来の後継者確保を行う「女性農業士会」活動、地域農業の活性化を図る農村女性組織、地域の特産物や地場産物に付加価値を付け、地産地消の一役を担う女性起業等に積極的に関わっています。

農業者が計画性をもって働きがいのある魅力的な農業経営を確立するための家族経営協定にも、女性がリード役となって締結を進めてきました。

消費者ニーズに対応したもののづくりが求められる時代であり、女性が元気なところは地域も元気であると言われていきます。

土浦地域では、生産者であり最も身近な消費者でもある女性農業者の感性や能力が、農業生産や地域づくりに活かされています。



ナシ大玉生産のための管理

ナシの大玉多収穫栽培を実践するためには、樹勢の適正化と貯蔵養分の蓄積が必要です。そのためには、整枝せん定、結実着果管理、肥培管理、土づくり、を総合的に組み合わせて、周年管理で取り組まなければなりません。

今回は、ナシづくりのスタートとなる収穫後の管理について説明します。

● 礼肥

収穫が終わると、秋根の伸長が始まり、落葉までの間、来春の生長に備えて貯蔵養分が蓄積されます。この貯蔵養分の蓄積を高めるため、収穫終了後に礼肥としてチツソ成分で4kg/10a程度施します。なお、混植園については、未収穫樹に施さないよう注意して下さい。

● 秋季せん定

十月中旬頃から、三年生側枝等必要のない枝のみ除去します。傷口の癒合、冬季せん定時の労力軽減と来春の新梢発生が良くなる等の効果があります。

注意点として、樹勢の低下している園では行わないことと、徒長枝は樹勢維持のために切らないこ

と、があります。

● 土づくり

土壌の化学性を改善するため、土壌診断を行い診断結果に基づいた土壌改良材を施します。また、ホールディガーを用いた堆肥の局所施肥や、株元への堆肥



株元堆肥マルチ

マルチなどにより、土壌の物理性を改善し、細根が発生しやすい環境にすることが大切です。ただし施用する堆肥は、完熟のものを使用して下さい。未熟堆肥は根を傷めるなど悪影響を及ぼすので十分な注意が必要です。



ホールディガーによる局所深耕

梨のパンナコッタ

● 材料 (4人分)

- 梨…1/2個 牛乳…250cc
- 生クリーム…200cc 砂糖…70g
- ゼラチン…10g 水…大さじ4杯
- ラム酒…大さじ1杯 (梨のコンポート)
- 梨…1個 砂糖…40g
- 水…50cc 赤ワイン…50cc

● 作り方

- ①ゼラチン10gは水大さじ4杯でふやかしておく。
- ②梨1/2個をすりおろし、牛乳と合わせて250ccとし鍋に入れる。生クリーム200ccと砂糖70gを加え煮る。
- ③沸騰したら火からおろし①のゼラチンを加えてよく溶かす。
- ④粗熱をとり、ラム酒大さじ1杯を加える。
- ⑤器に冷やし固める。
- ⑥(コンポート)梨は5mm角に切り鍋に入れ、砂糖40g、水50cc、赤ワイン50ccを加えて煮、粗熱を取ったら冷やしておく。
- ⑦梨のパンナコッタに⑥の梨のコンポートを盛りつける。

まちからむらから

土浦市

プロ農業者をめざして勉強会

土浦市の二〇〜四〇歳代の若手農業者で組織されている「JA土浦青年部はばたく会(会員二八名)」では、これまで会員相互の親睦を深めるための会員交流会や、土浦市産業祭での農産物直売、視察研修などが活動の中心でしたが、昨年度から、自立した農業経営者となるために勉強会を取り入れて活動しています。昨年度は、「農薬散布の基礎」や「病害虫の薬剤抵抗性」など病害虫防除をテーマに勉強会を開催しました。今年度も引き続き、農作物栽培の基礎である「土づくり」をテーマに勉強会を開催していくことになりました。会員達は地域農業の担い手として、栽培技術や経営感覚を高めようとする意欲的に取り組んでいます。

かすみがうら市

「農業体験試行事業」を計画

かすみがうら市では、農村に関心がある都市住民を対象に、三泊四日(宿泊は市営の施設等)の日程で、ありのままの農業を体験していただく企画をスタートさせました。

受け入れに協力するのは、市農業三士の会(農業経営士・女性農業士・

レンコンの施肥を
見直しましょう

霞ヶ浦周辺には一面にレンコン田が広がっています。近年、環境問題に対する意識の高まりから、農業用水の霞ヶ浦への排水が注目されています。そこで、施肥窒素量を削減したレンコン栽培の取り組みについて紹介します。

①二割減肥栽培

レンコンの県基準施肥窒素量は二四kg/一〇aですが、溶出期間一〇〇日程度の肥効調節型被覆肥料を利用することにより、基準より二割削減した窒素量一九kg/一〇aでも平年並みの収量を維持できました。

②隔年施肥栽培

土づくりのためたい肥を毎年一t/一〇a施用し、施肥を一年おきに二〇kg/一〇a程度とし、平年並みの収量を維持できた事例がありました。

③特別栽培農産物の取り組み

茨城県の特別栽培農産物認証制度におけるレンコンの化学肥料由来の窒素成分量は一〇・七kg/一〇a以下、化学農薬の成分回数は三回以内で定められています。特別栽培に取り組んだ事例では、排水中の窒素流出量は一八〜三八%減りました。レンコンの一〇a当たりの窒素吸収量は単収が約一・八tの場合、地上部、地下部、収穫物を合わせて約

一二kgです。それ以外の分は田面水や土壌浸透水に含まれて霞ヶ浦へ排水、または土壌中に蓄積されていきます。肥料費の節約、環境に配慮したレンコン栽培に取り組むため、施肥を見直してはいかがでしょうか。

県育成品種の紹介(コギク)

茨城県では、七月〜九月にかけての需要期に開花するような県オリジナル品種の育成に取り組み、三品種が品種登録されました。

「常陸サマーレモン」

- ・花色はレモンイエロー系の黄色
- ・頂点咲きでフオーメーション良好
- ・好
- ・季咲き栽培には



「常陸サマーゴールド」

- ・花色は明るい黄色
- ・分枝数、着蕾数の多いポリユームのある品種
- ・八月旧盆〜盆明けに有望
- ・(平成二〇年 二月出願公表)



七月出荷作型が適し、八月出荷を目指す場合は電照処理等による開花調節が必要 (平成一九年二月出願公表)

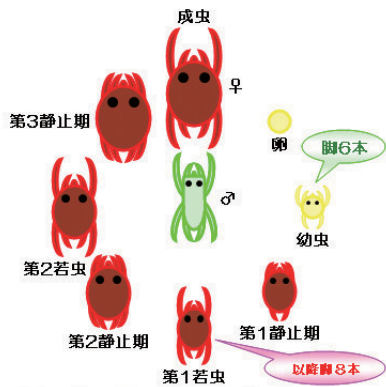
「常陸サニーホワイト」

- ・花色は純白に近い白色
- ・頂点咲きでフオーメーション良好
- ・開花時期は七月上旬で東京盆向けに有望
- ・(平成二〇年 二月出願公表)



☆ダニの話あれこれ☆

ダニは昆虫ではなく、クモの仲間です。その証拠に、ハダニでは成長した若虫・成虫の脚が八本あります(生まれたての幼虫の脚は六本です)。よって、ハダニを防除するためには、昆虫を対象とした殺虫剤ではなく、殺ダニ剤を用いなければなりません。



▲図 ハダニの雌の生活環 右回りに発育する

石岡市

石岡市の飼料米生産の取り組み

JAひたち野では、平成二〇年度に六〇aの飼料米を試作しました。飼料米は、JAひたち野管内の養鶏農家へ飼料として供給し、生産した卵は生協向けに販売し好評を得ました。養鶏農家から飼料米を年間給餌した卵を生産したいとの要望があり、二一年度は、本格的に飼料米の生産に取り組んでいます。飼料米の作付面積は、約二haで、四戸の耕種農家が、転作田を利用し栽培しています。また、耕畜連携による地域資源循環の取り組みとして、発酵ケイフンを利用した有機質施肥による飼料米の試作にも取り組んでいます。

石岡市では、水田農業ビジョンで飼料米を転作物に位置づけています。八郷地区でも取り組んでおり、石岡市全体では、約二八haとなっています。

環境にやさしい農業に
取り組みましょう。

○エコファーマーとは

近年、地球温暖化や湖沼・地下水の水質汚染など環境の悪化が大きな問題となっており、農業においても環境にやさしく持続的な農法への転換が求められています。

平成一一年度に制定された「持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律」において、エコファーマーの制度が出来ました。

「エコファーマー」は【土づくり】、【化学肥料低減】、【化学農薬低減】の三つの技術を一体的に取組むことにより知事の認定を受けた、環境にやさしい農業を担う農業者の愛称です。

現在、県内では約六、八五七人（平成二一年三月現在）がエコファーマーに認定されています。さらに多くの人に加わっていただきたいと考えています。

作物ごとに前記の技術の中から一種類以上の具体的な技術を選んで計画書を作成し、農林事務所経営・普及部門（地域農業改良普及センター）に提出してください。計画書が認められるとエコファーマーとして認定されます。

○エコファーマーマークについで
「Jace」の文字と「地球」・「8」



「笑顔」は地球環境へのやさしさや農産物の「安心感」、「親しみやすさ」を表しています。

をモチーフに、持続性の高い農業生産方式に取り組む農業者の積極的な姿勢と広がりを実現してまいります。

農業経営士
女性農業士の
紹介

今年度新たに次の方々が茨城県知事から認定を受けました。

また、農業経営士の宮下茂司氏、鈴木昇氏、飯田敬市氏、外塚孝雄氏、女性農業士の櫻井裕子氏、川上泰子氏、青年農業士の坂川伸一氏、市川浩文氏、幕内秀文氏が退任されました。

農業経営士

土浦市 大関忠氏
レンコン+野菜



J A土浦都和部会長を務めています。レンコンは、早生、中

生、晩生種を作付けして、長期出荷できるようにしています。また、ハウスで、コマツナ、ホウレンソウを周年出荷し、所得の安定と、労力の分散を図っています。

石岡市 原田通弘氏
施設キュウリ+稲作



J Aひたち野キュウリ部に所属し、生産履歴管理責任者として安全安心なキュウリ生産を推進しています。良質な自家堆肥による土づくりや、養液土耕栽培による効率的な施肥管理に取り組んでいます。

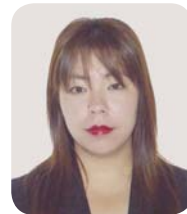
かすみがうら市 小林賢次氏
花木+苗木



コニファーを中心に造園用の花木等の苗木を生産しています。お客様のニーズに合わせるように様々な大きさ、品種を揃えています。単に花木を販売するだけでなく、施工先に合わせた庭木や花壇の配置等も提案しています。

女性農業士

土浦市 斉藤礼子氏
施設花き



柳を生産から販売までそれぞれ責任を持って取り組んでいます。将来は、直売活動を通じて、地域活動にも貢献していきたいと考えています。

家族経営協定を締結し、役割分担を明確にして、本人夫婦はカーネーションを、親夫婦は雪

平成22年度 茨城県立農業大学校学生募集

2009年度から、専修学校となり大学への編入学の受験資格が得られます。

茨城県立農業大学校は、幅広い視野と豊かな人間性の形成を図るとともに、時代に即応できる経営感覚に優れた農業者及び農村社会の担い手、農村地域において指導的役割を果たし得るにふさわしい者の教育を目標としています。

■入学定員■

学科	科名	入学定員	主な対象	修業年限	専攻コース
学科	農学科	40名	高等学校等を卒業した者	2年	普通作・露地野菜・果樹
	畜産学科	10	又は平成22年3月に卒業	2年	
	園芸学科	30	若しくは修了見込みの者	2年	施設野菜・花き
研究科		10	農業大学校卒又は短期大学等卒以上若しくは卒業見込みの者	2年	作物・園芸・畜産

◎ 詳しくは入試事務局にお問い合わせください。

■ 問い合わせ先 〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡4070-186
《入試事務局》 TEL 029-292-0010

■ 農大ホームページ <http://www.ibanodai.ac.jp/>